

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス レタラ新川

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

12月

6日

法人（事業所）理念		『創造』『向上』『適応』								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ○創造した未来に向けて、行動する。 ○安心と安全を提供する。 ○成長・発展の機会を提供する。 								
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○着替え、食事、移動、排泄、身じたくなどの基本的な生活動作を獲得できるよう、楽しみながら動作やルールを学ぶ。 ○日々の表情や行動の観察、検温などから心身の健康状態を把握し、その日の関わり方、支援内容を検討する。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○姿勢の保持や基本的動作の向上 ○運動を通して体のコントロール感を養う ○体を思いっきり動かす運動や細かい作業が必要な指先の動作などを、視覚、聴覚、触覚などの五感を使いながらの遊びを通じて、体の動きをコントロールしたり、感覚機能を向上できるように支援する。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○認知や行動の特性を理解し、適切な行動を習得できるよう支援する。 ○必要な場合には、SST（ソーシャルスキルトレーニング）などを個別で行い、社会性の向上を図る。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○状況に応じた言語、非言語的なコミュニケーションが取れるよう支援する。 ○能力に応じて読み書きができるようプリント、パズル、自立課題（ブツイン、マッチング、分類）などを利用して、学習の機会をつくる。 ○幼児から小学生と幅広い年齢の子どもたちがいることで、それぞれが他者とどう関わりを形成すればいいかを学習する機会を提供する。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○児童にとって楽しく過ごしやすい場となるよう環境調整をしつつ、逆に社会に出た時に自立した生活を送るため、パニック等の場面を自分でコントロールできるよう無理のない範囲でパニックを克服したという経験を積む機会も大事にする。 ○工場見学や大きな公園などへの郊外活動を通じて、社会の成り立ちや社会とのつながりを体験できる機会を確保する。 ○調理体験をすることで、調理の面白さや食事の楽しさなどを知る機会にしつつ、集団の中での役割分担など社会性を身につける場としても活用する。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ○日々の様子や成長に関する不安、今後に関する意向などを聞き、一緒に考えていけるよう相談を受ける。 ○家庭と事業所で連携した関わり方ができるよう支援する。 				移行支援		○園や学校、関係機関との連携を必要に応じて図る。		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ○保育園や幼稚園、子ども園、学校などとの連携を必要に応じて図る。 ○地域行事への参加 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な事業所内研修および事例検討会 ○外部研修(推奨)への参加 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ○水族館、動物園、公共施設など週1程度 ○季節のイベント(お正月、節分、ハロウィン、クリスマス、水遊び、雪遊びなど) 								